



第77回国民体育大会に出場

高須 照美 さん

ねりんピックかながわ2022に出場

河原崎 猛 さん



PROFILE

右：たかす てるみ(中町)
県代表12名に選出される。グラウンド・ゴルフ歴8年。
マレットゴルフ仲間の勧めでグラウンド・ゴルフを始める。マレットゴルフ歴は20年。

左：かわらさき たけし(朝比奈原)
静岡市・浜松市を除いた県代表6名に選出される。グラウンド・ゴルフ歴9年。
職場のグラウンド・ゴルフ大会に参加した娘さんから「楽しいよ」と聞いていたところ、友人に誘われて始める。



グラウンド・ゴルフの静岡県代表として、全国大会へ挑む選手がここ御前崎から2人も選出された。

1人目は河原崎猛さん(朝比奈原)。河原崎さんは、昨年11月27日に開催された「第32回静岡県すこやか長寿祭」で3位となり、11月14日・15日に神奈川県で開催される「ねりんピックかながわ2022」へ出場する。

2人目の高須照美さん(中町)は、4月30日に開催された「第29回県民スポーツ・レクリエーション祭」で5位入賞し、9月17日・18日に栃木県で開催される「第77回国民体育大会」に出場する。

グラウンド・ゴルフは元気の源

河原崎さんは、クラブでボールを打ち、打数の少なさを競っていくことに楽しさを覚え、週に5回もプレーするほど夢中になっていく。河原崎さんは、「プレーすることが楽しいのはもちろんだけど、仲間と顔を合わせているんない会話ができるのが楽しくてね」と白い歯を見せる。

高須さんは、仕事をしながら

らも、休日は月に5、6回、練習に励み、市の大会などで結果を残すようになった。「外気にふれながら日光を浴びて、芝の上を歩き回る。体のためにもなるし、とても楽しいですよ」と笑顔で話す。

ホールインワンとメダルを目指して

グラウンド・ゴルフでホールインワンを出すと、合計打数から三打引かれ、勝敗を左右することもある。2人は、「ホールインワンを出したときは、思わず声を出して喜んでしまいます。いい成績を残せるのは嬉しい」と口をそろえる。

高須さん、河原崎さんともに、全国大会に出場するのは初めて。河原崎さんは「ボールを少ない打数でゴールに運ぶには芝の様子を見極めるのが大切。出場するからには精いっぱいプレーしてメダルを獲得したい」と意気込む。高須さんも「全国大会でもホールインワンを出して勝ちたい。芝に合わせた打ち方を意識する」と気合い十分。全国の地でも2人は、楽しみながらプレーすることだろう。